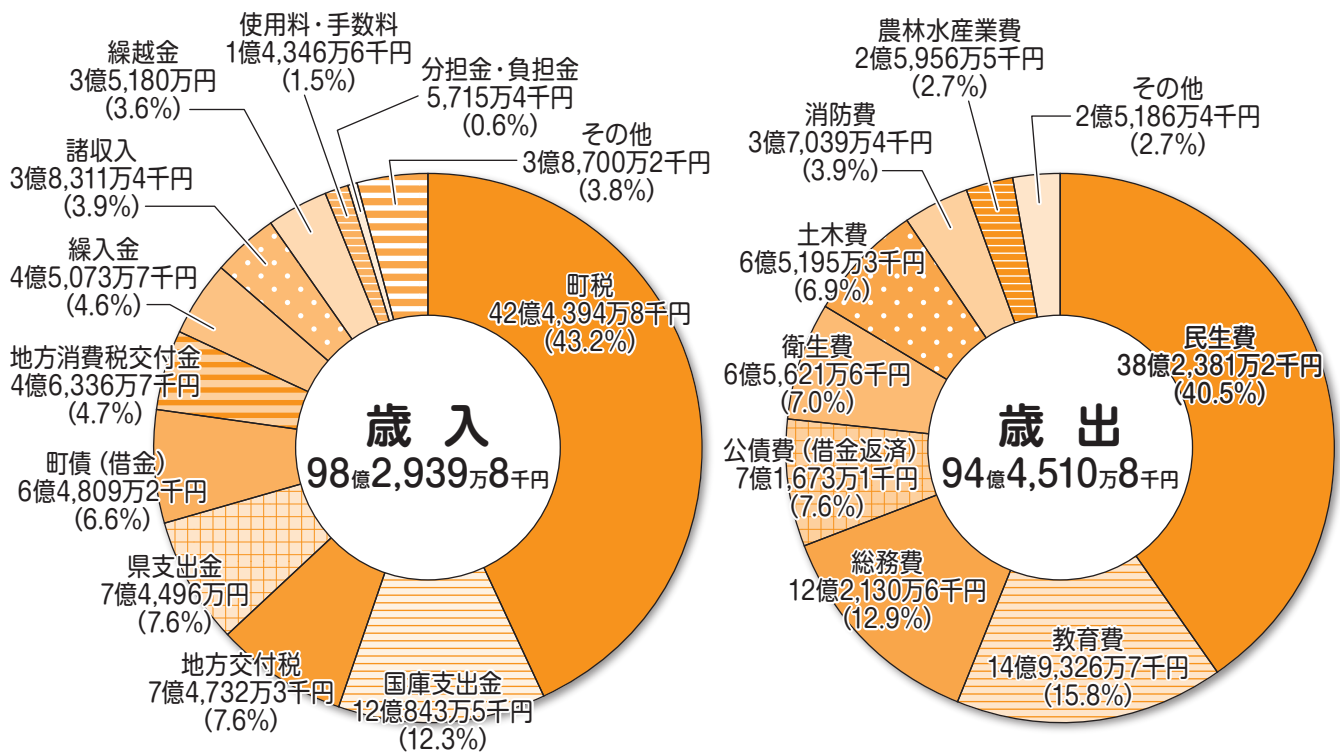


令和元年度 決算

令和元年度一般会計、3つの特別会計と2つの企業会計の決算を審議した。

- 一般会計の歳入歳出差引額（形式収支）は、3億8,429万円の黒字となった。そのうち、翌年度（令和2年度）に繰越すべき財源としての繰越明許費繰越額1,974万円を差引いた実質収支は、3億6,455万円の黒字となった。
- 一般会計決算は、歳入・歳出ともに前年度より増額となっており、主なものは、歳入では国庫支出金・県支出金の増額など、歳出では民生費・農林水産業費の増額など。

令和元年度 一般会計決算



令和元年度 特別会計・企業会計決算

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引額	
国民健康保険	24億5,659万4千円	24億1,293万4千円	4,366万円	
介護保険	19億3,794万3千円	17億9,827万5千円	1億3,966万8千円	
後期高齢者医療	3億7,228万円	3億6,511万7千円	716万3千円	
水道事業会計	収益的収支	5億9,546万4千円	5億2,292万5千円	7,253万9千円
	資本的収支	964万1千円	1億3,746万3千円	*1△1億2,782万2千円
下水道事業会計	収益的収支	5億3,192万9千円	5億1,556万2千円	1,636万7千円
	資本的収支	1億9,049万円	3億2,421万円	*2△1億3,372万円

*1不足分は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、減債積立金、過年度分損益勘定留保資金で補てん。
*2不足分は、当年度分損益勘定留保資金で補てん。